

## 「2018年10～12月期 中小企業 景気動向調査」 結果報告

## — 業況DI改善、引き続き高水準を維持 —

一般財団法人しんきん経済研究所は、県西部地域の中小企業を対象に行なった「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたので、ご報告します。

## 1. 調査概要（調査/しんきん経済研究所、協力/浜松商工会議所）

調査時期	2018年12月3日～7日
調査対象	静岡県西部地域の中小企業 661社
回収状況	回収数 641社（回収率 97.0%）
調査方法	調査表を用いた面接聴取（遠州信用金庫、浜松信用金庫、磐田信用金庫に委託）

## 2. 調査結果

## ① 2018年10～12月期の業況

県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで9.5となり、2018年9月の前回調査（2.8）と比べて6.7ポイントの改善となった。1996年の調査以来はじめて10を上回った2017年12月調査に近い水準であり、過去と比べても業況の水準は引き続き高い。

## ② 2019年1～3月期の見通し

次回の業況DIは5.1ポイント悪化の4.4を見込む。

## ③ 主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	→ 今期	→ 次期見通し	
全体	641	2.8	<b>9.5</b>	4.4	
製造業	326	6.1	<b>13.5</b>	5.8	業況DI、7四半期連続のプラス水準。人手不足感は強く、特に自動車、機械で深刻化。
二輪車部品製造	52	-7.8	<b>17.3</b>	5.8	業況DI大幅改善でプラス水準回復、ただし残業時間は増加。
自動車部品製造	70	28.4	<b>32.9</b>	27.1	業況DI、過去3番目の高水準。受注好調に関する明るいコメント多し。
機械部品製造	57	15.3	<b>12.3</b>	3.5	業況DIは6四半期連続のプラス水準を維持、設備投資需要は増加。
楽器部品製造	18	-5.6	<b>-5.6</b>	5.6	業況DI横ばい、次回マイナス水準の解消を見込む。
繊維製造	24	-16.0	<b>-8.3</b>	-12.5	業況DI、三四半期ぶりの改善。春夏物の生産が本格化している様子。
製茶製造	15	15.4	<b>-26.7</b>	-26.7	18年6月から調査開始。業況DIは大幅悪化、マイナス水準へ。
製材製造	18	-35.3	<b>-11.1</b>	-16.7	18年6月から調査開始。売上額DI・収益DIは大幅改善し、プラス水準へ。
卸売業	78	-8.5	<b>3.8</b>	0.0	業況DI、17年9月以来2回目のプラス水準。受注好調なコメント多し。
小売業	70	-2.9	<b>-7.1</b>	-14.3	業況DI小幅悪化、マイナス幅を広げる結果に。収益的に厳しいコメント多し。
建設業	72	2.7	<b>13.9</b>	16.7	台風特需、年度末に向け業況DIは更に改善。人手不足が深刻な課題。
不動産業	45	17.4	<b>17.8</b>	13.6	業況DIは8四半期連続のプラス水準、商品物件の不足続く。
飲食・宿泊・レジャー等	13	-35.7	<b>-15.4</b>	-15.4	業況DI改善、年末行事や大型イベントに期待。

本件のお問い合わせ先

◆◆ 4月より法人組織を変更しました ◆◆

一般財団法人 しんきん経済研究所 / 神谷 / TEL053-452-1510

〒432-8036 / 浜松市中区東伊場2丁目7-1 浜松商工会議所5階